

LED照明を選ぶときのポイントは？

LED照明にする方法は2種類あります

1. (一体型)LED照明器具を使う

新築・大規模リフォームならこちら

LED、電源回路、部材が一体化になったタイプです。目的別に最適な設計がされているので、デザインバリエーションも豊富。様々な空間に最適な照明が選べます。



2. 白熱灯器具にLED電球を使う

ランプ交換で手軽に使うならこちら

ただし、LED電球は全ての照明器具に使えるわけではありません」



白熱灯器具にそのままLED電球を取り付けて、手軽にご使用になれます。LED電球は、家電量販店でも購入できます。

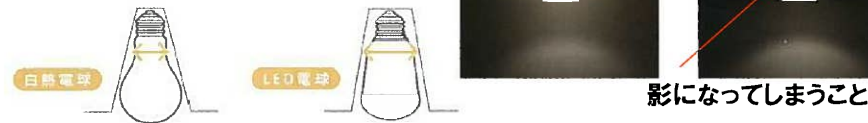
LED電球のここにご注意!

1 光の広がり方が異なります



2 大きさ・形状が異なります

白熱電球 光がうしろ(口金)方向にも広がり、広い範囲を照らします。
LED電球 前方を直線的に照らすので、照らす範囲が狭くなります。



LED電球は、白熱電球と形状が異なるため、照明器具によっては、うまく収まらない場合があります

3 調光器には、調光器対応ランプを使用してください

100%~10%の調光ができます
調光したときに、ごくまれにチラつくことがあります



4 人感センサ器具には使用できないものもあります

調光機能のついた人感センサ回路では、調光できなかったり、チラついたり、点灯しない場合があります。

5 Sマークがついている照明器具には使用できません

Sマークは、断熱材施工対応器具の印です。この器具でLED電球を使用すると、電球内の電子回路の温度が高くなり、寿命が短くなってしまいます。



Sマークの見つけ方 断熱材施工対応器具の枠・反射板にあります。

6 屋外には使用できません

雨、水滴、結露による絶縁不良や直射日光による温度上昇、カミナリ等による高電圧発生で故障の原因となります。(一部適合器具を除く)